

## 「平和の実現」

～どうすれば戦争がなくなるのか？～

2月25日（金）の朝はこどもの礼拝の日で、その後もお誕生日会も続きました。次の日は就学前合宿が控えていて、楽しことが続く一日のはじまりでした。ところが朝刊の一面の記事は、「ロシア、ウクライナ侵攻」だったため、心がざわつきました。何故ならば「戦争が始まったことで、再び多くの命が失われ、難民や生活に苦しむ人が増える」と思ったからです。

それにしても「なぜ、人と人が殺し合うのでしょうか？」

20世紀は大きな戦争を繰り返してきたにも関わらず、どうして戦争が絶えないのでしょうか。少し想像力を働かせば、多くの人々が死にさらされ、多くの犠牲を強いられることは、誰でも分かるはずです。

そもそも「平和とはどういうことをいうのでしょうか？」そして、「どうしたら平和の実現が可能なのでしょうか？」



そのことを日野原重明さんの「十歳のきみへ」という本にヒントを得ました。日野原さんは次のように語られます。「平和が、ここにあって、あそこにはないとしたら、それは『平和』ではない。77年前に大きな戦争が終わってから、今まで日本に戦争がありませんでした。人々の暮らしはゆたかになって、だれもがあたりまえに学校で学ぶことができるようになり、平均寿命は世界一になりました。しかし、これが『平和』ではない。自分の周辺だけでなく目を外に向けた時、世界のあちこちで争いが起こっている。何十年も続いている戦争もある。たとえ今戦争がなくても、とても貧しく、食べるものもなく、医療も受けられずに5歳までも生きられない子どもたちが、世界には大勢いる。その一人一人が、私たちと同じ人間であり、同じようかけがえのない存在であるにも関わらずです。自分や自分の住む国だけが安全で快適ならばそれでいいんだと思っているかぎり、私たちはいつまでたっても世界の平和を実現できない。世界中のすべての人がお互いに平和でありたいと手をつなぎ、助け合うときに、みんなの見つめる視線の先にあるのが『平和』である。世界のどこか一か所でも、人々の命がおびやかされるような国や地域があるならば、世界はまだ平和ではない。」と。

そして「喧嘩でも戦争でも争う両者はこう言います。『相手が反撃をやめないから、もう二度と反撃してこられなくなるまで、相手を叩き潰すより他はない』『相手が先ず心の底から詫言いで、わたしが受けた傷を全部元通りにしてくれるなら、ゆるしてやらないでもないのに…』『喧嘩を売ってきたのは向こうなのだから、相手の方が悪い』それぞれが自分の立場や行動を正当化する理屈をならべます。そして『お前のせいで、こんなに深く傷つけられたんだ。お前のおかげで涙がかけられるほど泣かされたんだ』と、非難の応酬。相手が深い傷を負うのは当然の報いだとも考える。」と語られます。

ではどうすればいいのか。「それは、憎い相手を赦す。その勇気で争いを終わらせることができる。」

「私はきみの傷をこれ以上、深くえぐるようなことはしたくない。それに私もこれ以上きみとの関係で自分の痛みをひどくしたくない。だから、あなたがいままで私にしたこと、私は全部水に流す。そういう勇気がいる。」のだと。

私は、この「赦す」という行為、ここに戦争を食い止めるヒントがあると思いました。その為には、お互いの「痛み」を共有する「想像力」そして、人間への持つ「罪」や「弱さ」への深い洞察が必要だと思います。それには、時間と「強い忍耐」が必要だと思いました。そして、そこに「希望」もあるのだと信じます。



そのことを日野原重明さんの「十歳のきみへ」という本にヒントを得ました。日野原さんは次のように語られます。

「平和が、ここにあって、あそこにはないとしたら、それは『平和』ではない。77年前に大きな戦争が終わってから、今まで日本に戦争がありませんでした。人々の暮らしはゆたかになって、だれもがあたりまえに学校で学ぶことができるようになり、平均寿命は世界一になりました。しかし、これが『平和』ではない。自分の周辺だけでなく目を外に向けた時、世界のあちこちで争いが起こっている。何十年も続いている戦争もある。たとえ今戦争がなくても、とても貧しく、食べるものもなく、医療も受けられずに5歳までも生きられない子どもたちが、世界には大勢いる。その一人一人が、私たちと同じ人間であり、同じようかけがえのない存在であるにも関わらずです。自分や自分の住む国だけが安全で快適ならばそれでいいんだと思っているかぎり、私たちはいつまでたっても世界の平和を実現できない。世界中のすべての人がお互いに平和でありたいと手をつなぎ、助け合うときに、みんなの見つめる視線の先にあるのが『平和』である。世界のどこか一か所でも、人々の命がおびやかされるような国や地域があるならば、世界はまだ平和ではない。」と。

そして「喧嘩でも戦争でも争う両者はこう言います。『相手が反撃をやめないから、もう二度と反撃してこられなくなるまで、相手を叩き潰すより他はない』『相手が先ず心の底から詫言いで、わたしが受けた傷を全部元通りにしてくれるなら、ゆるしてやらないでもないのに…』『喧嘩を売ってきたのは向こうなのだから、相手の方が悪い』それぞれが自分の立場や行動を正当化する理屈をならべます。そして『お前のせいで、こんなに深く傷つけられたんだ。お前のおかげで涙がかけられるほど泣かされたんだ』と、非難の応酬。相手が深い傷を負うのは当然の報いだとも考える。」と語られます。

ではどうすればいいのか。「それは、憎い相手を赦す。その勇気で争いを終わらせることができる。」

「私はきみの傷をこれ以上、深くえぐるようなことはしたくない。それに私もこれ以上きみとの関係で自分の痛みをひどくしたくない。だから、あなたがいままで私にしたこと、私は全部水に流す。そういう勇気がいる。」のだと。

私は、この「赦す」という行為、ここに戦争を食い止めるヒントがあると思いました。その為には、お互いの「痛み」を共有する「想像力」そして、人間への持つ「罪」や「弱さ」への深い洞察が必要だと思います。それには、時間と「強い忍耐」が必要だと思いました。そして、そこに「希望」もあるのだと信じます。

## 3月の行事予定



- 4日・11日・18日・25日(金) 10:00～ 礼拝(西宮一麦教会橋本いずみ牧師のお話)  
7日(火) 幼児お弁当日(散歩に出かけます) 9:30までに登園してください  
10日(木) 避難訓練(地震・津波)  
11日(金) 礼拝後…誕生祝福・誕生会  
16日(水) 卒園式予行 10:00～  
18日(金) 礼拝後…お別れ会  
19日(土) 第43回みどり野保育園卒園式 10:00～  
※卒園児保護者同伴(場所:みどり野保育園 2F 幼児保育室)  
※卒園式は4歳児と3歳児も一緒にお祝いしていただきたいので、普段お休みしている子どもたちも土曜日登園をお願いします。(時間帯は9時30分～11時00分です。)  
21日(月) 春分の日・休園  
26日(土) お弁当日・新年度準備日  
※新年度に向けての準備をしますので、家庭保育・半日保育に出来る限りご協力をお願いします。  
28日(月) 主食代・副食代等 口座振替日



### 3・4・5歳児 コスモ運動あそび

1日・15日(火) 10:00～

※動きやすく、大きすぎず、シンプルな服装  
サイズのあった靴で登園してください

### ☆園庭開放☆

毎週水曜日 9:30～11:00

今年度の再開は見送っていますが、コロナ禍の中で子育てなどにストレスを感じておられる方対象に相談にも応じていますので、お友達やご近所の方にご案内いただきますようよろしくお願いいたします。

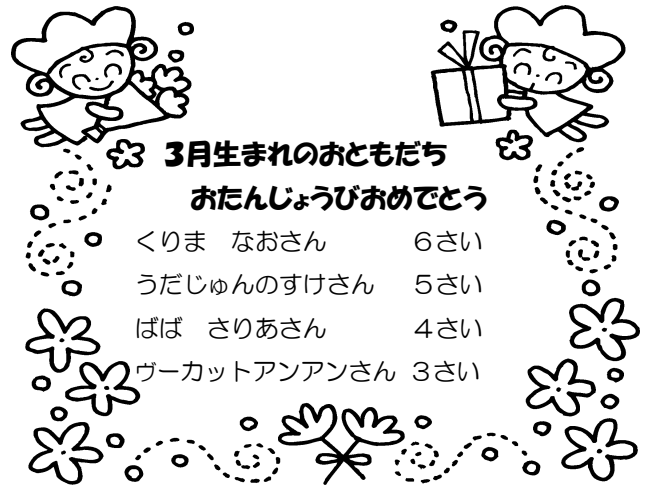
### 4月の予告

1日(金) 入園式・進級式(新入児親子同伴)

※継続児は普通保育です

15日(金) イースター礼拝 3・4・5歳児  
礼拝後に卵探しをします。

25日(月) 幼児交通安全教室 10:00～



### 3月生まれのおともだち

#### おたんじょうびおめでとう

くりま なおさん 6さい

うだじゅんのすけさん 5さい

ばば さりあさん 4さい

ガーカットアンアンさん 3さい

### 「保護者と職員の会」より

次期役員のご協力をお願いいたします。毎年幼児の保護者の方より6名の役員を決めます。まずは立候補者を募ります、3月4日(金)までです。立候補者がいない場合、役員さんの推薦にて決めさせていただきますのでご了承ください。尚、旧役員と新役員の引継ぎの役員会(2022年度第1回)を3月25日(金)18:00～で行う予定です。

いよいよ2021年度の締めくくりの3月を迎えました。

先日、去年同様無観客の中で幼児の生活発表会を行い、ビデオ撮影をすることができました。保護者の皆様にはご理解いただき感謝しています。今年は特にコロナ禍の中長期欠席する子どももいて発表会に向けての取り組みを始めてから全員が揃う日がないまま当日を迎えることになり、当日も各年齢1人ずつの欠席がある中での取り組みとなりました。また、言うまでもなく当日はいつも以上に張り切って上手にセリフが言えたり、歌ったり踊ったり表現することを楽しめていました。ビデオが届くのを楽しみにしててください。また、2歳児ペンぎんも、全員出席の日いつもの遊びの中で取り組んでいる表現遊びをビデオ撮りして見ていただく予定です。楽しみにしててくださいね。

残り少なくなった今年度の生活もあっという間に過ぎてしまいそうですが、これからも子どもたちの姿を見守りながら、一日一日を大切に過ごしていきたいと思っています。日々の保育にご理解、ご協力いただきありがとうございます。どうぞ変わりなくよろしくお願いいたします。 主任保育士 杉原圭美

